

<レポート>

特別集会『ディーゼル排ガスの影響およびその対策』について (第43回大気環境学会年会)

第43回大気環境学会年会は、平成14年9月11日(水)から13日(金)までの日程で、東京都府中市の東京農工大学で開催された。例年この年会において、分科会の枠内で全国環境研究所協議会合同集会在設定されており、今年度は第20回目となる。

現在、ディーゼル排ガスの影響とその対策については、大気汚染の分野でもっとも大きな課題となっていることから、年会の特別集会として健康影響分科会等の3分科会と合同で講演会を開催することとした。

特別集会は、「ディーゼル排ガスの影響およびその対策」をメインテーマとし、第Ⅰ部を全環研協議会主催、第Ⅱ部を健康影響分科会、がん(変異)原性分科会、リスク分析分科会の主催として構成されている。特別集会の内容を以下に記す。

●特別集会Ⅰ

テーマ：ディーゼル排ガスの影響およびその対策

日時：2002年9月11日 13:00~17:00

会場：東京農工大学

第Ⅰ部：ディーゼル排気粒子の対策と実態

座長：横田久司(東京都環境科学研究所)

演題

- (1) 東京都におけるディーゼル排気粒子対策
東京都環境局 山本 宗一
- (2) ディーゼル排ガスの低減技術
財石油産業活性化センター 柴田 芳昭
- (3) ベータ線吸収方式PM2.5モニターのテープろ紙を利用した粒子状物質の粒径別高時間分解能分析
京都府保健環境研究所 日置 正
- (4) 冬季における幹線道路周辺の粒子状物質調査
千葉県環境研究センター 内藤 季和

第Ⅱ部：ディーゼル排気粒子の健康リスク評価について

座長：国立環境研究所 藤巻 秀和
国立保健医療科学院 久松 由東

演題

- (1) ディーゼル排気粒子の性状と環境大気中の濃度
大阪府立大学先端科学研究所 溝畑 朗
- (2) ディーゼル排気粒子の発がん影響に関する動物実験と遺伝子障害性
相模女子大学 安達 修一
- (3) ディーゼル排気粒子の非発がん影響に関する実験的研究
国立環境研究所 小林 隆弘
- (4) ディーゼル排気粒子の健康影響に関する疫学的知見—その評価と問題点—
国立環境研究所 新田 裕史
- (5) ディーゼル排気粒子の健康リスクの総合判定について
京都大学大学院 内山 巖雄

今回の特別集会では、ディーゼル排気粒子を中心に排気管からの排出とその低減対策、環境における汚染状況の解明や自治体における取組み、さらにその健康影響までを取り上げた。とくに、第Ⅰ部では主に自治体における取組み、第Ⅱ部ではDEPリスク検討会報告の内容が講演の中心であった。

本特別集会への関心度は高く、自治体研究機関の職員25名を含む約150名もの多数の参加で、立見も出る盛況であった。会場との質疑も活発であり、熱心な討議が行われた。

貴重な講演をして頂いた演者にご協力頂いた皆様に深く感謝いたします。

(記：横田久司 東京都環境科学研究所)